

# 医療

## 知っておきたい医療知識

### シリーズ 歯科治療最前線

# 「歯周病と全身との関係」

ギネスブックには、「歯周病は世界で最も罹患率が多い疾患」として掲載されているそうです。潜在患者数は40歳代で約8割が罹患するなど数多くありますが、その中で受診している人は2割もいません。また、最近では全体的疾患との関係も取り沙汰される恐ろしい病気の一つです。そこで今月号では「歯周病と全身との関係」を取り上げました。

### さまざまな因子が発症原因に

歯周病は、口腔内の歯周病菌の感染によって引き起こされる「炎症性疾患」です。口の中の清掃状態が悪いと、歯と歯肉の境目(歯周ポケット)に多くの細菌が溜まり、歯肉の周辺が炎症を起こして赤くなったり、腫れたりしてきます。歯周病が進行すると、歯を支える歯槽骨が溶けて歯がぐらつくよう



熊本インプラントセンター  
添島 英輔 副院長  
日本歯周病学会 会員  
日本アンチエイジング歯科学会 理事

### 専門医からのアドバイス Q&A

**Q** 歯肉などの軟組織に炎症が起こり、重度になると歯を抜かなくてはならないケースもある「歯周病」。口腔内だけでなく、全身的疾患まで悪影響を及ぼすといわれています。そこで今回は「歯周病と全身との関係」について、添島歯科医院(熊本市中央区桜町)の添島英輔副院長に、お話を伺いました。

**Q** 最近の歯周病治療における傾向はどのようになってきましたか？

**A** 以前は歯周病に対しての治療だけがクローズアップされてきましたが、現在は治療のみならず、歯周病に罹患しないように、患者さんが主体となった予防的措置、教育推進を

になり、最悪の場合は抜け落ちたり、抜歯しなければいけなくなってしまう。

歯周病の進行は、口腔内の清掃環境が悪いことが主な原因ですが、ほかに不規則な食習慣、口呼吸、喫煙、唾液の減少、不十分な冠や義歯、ストレンなどが挙げられます。

また、歯周病は症状が悪化すると、全身的疾患の進行を助長する因子になるともいわれています。全身の疾患との関係では詳細はまだ解明されていないところもありますが、他のさまざまな血管系の疾患とも因果関係があると考えられています。

### 自覚症状が出る前に受診を

熊本市内の歯科医師によれば「歯周病は、世界中で一番罹患率が高い病気として、ギネスブックにも掲載されています。予防などを含めもつと注目すべき歯科疾患だ」と話しています。

### 「歯周病と全身との関係」

図ることにシフトしてきた感があります。例えば定期検診を勧めたりすること、早期発見に努め、罹患しても初期段階で進行を止める。そうすることで治療も簡単に済み、治療期間、治療費も抑制することが出来ます。

**Q** 歯周病はほかの歯科疾患と違い、さまざまな全身的疾患に関係があるとか？

**A** そうですね。歯周病は口の中の常在菌が原因として、歯肉に炎症を起こします。それらの菌が血管の中に入り込み、動脈硬化を引き起こす可能性があります。それらから糖尿病や妊娠における早産にも関係があると考えられています。歯周病を治すことで全身的疾患が治るとは言えませんが、病気の進行の助長を抑えることにはつながるといえるでしょう。

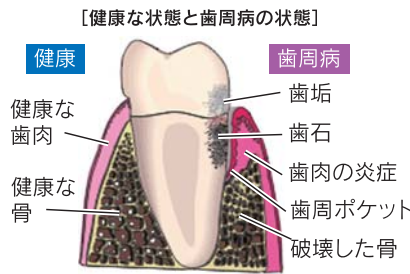
**Q** 歯周病の治療は症状によって違いますか？

**A** 症状は初期の段階から中等度までは大きな差はありません。歯石取りを1年に2、3回されるだけで予防効果が高まります。

歯周病の怖い点は、症状が初期の段階では、自覚症状がほとんど表面に出ないまま、どんどん進行し、痛みや腫れがはつきりと出てくるのは中等度くらいになってからが多いのです。特に歯がグラグラし始めたら要注意です。つまり、途中で自覚症状が少なくなると、この病気の最大の特徴である「自覚症状が少なくなる」(前述の歯科医師)。

歯周病は40歳代で約8割近くが罹患しているといわれていますが、実際に治療を受けた人はそのうち2割に満たなく、自覚症状が出て初めて受診する人がほとんどです。

歯周病は40歳代で約8割近くが罹患しているといわれていますが、実際に治療を受けた人はそのうち2割に満たなく、自覚症状が出て初めて受診する人がほとんどです。



【健康な状態と歯周病の状態】

とこで歯石を取り除きます。歯石はブラッシングなどでは取れませんが専用の器具を用い、歯周ポケットの深い部分の歯石は麻酔をかけて施術し、歯のグラつきや動いている場合は、噛み合わせの調整や歯を固定したりします。重度になると歯を残さない場合もあります。

**Q** どうしたら歯周病を予防することが出来ますか？

**A** ご自分でできることは第一に的確なブラッシングです。加えて歯間ブラシやデンタルフロス、電動歯ブラシなどを補助的な用具として使用するのはいかがでしょうか。さらに30歳を過ぎたら何もなくても歯科医院で定期検診を受けられると良いでしょう。歯垢、歯石取りを1年に2、3回されるだけで予防効果が高まります。

第一高井 ● 合同行倉 ● (社)日本口腔インプラント学会指定研修施設  
熊本インプラントセンター  
添島歯科医院  
熊本市中央区桜町1-28 桜町センタービル205  
0120-354-508  
http://www.soejima-sika.com/

# コミュニケーション講座



魅力ある人間力アップに向けて (第18回)

人は、ひとりでは生きて行けません。さまざまな形で支えあって生きています。それぞれが持つエネルギーを見つけ、見守り、引き出す。コミュニケーションは、人と人をつなぐ原点ともいえます。家庭、職場、近所付き合い、友人との付き合い、その全てがコミュニケーションであり、人生を楽しむこと、エネルギーアップにもつながります。ここではさまざまなコミュニケーションのとり方についてアドバイスします。

### 【今月のテーマ】

## 「人間関係をつまくするには」

「コミュニケーションアドバイザー」  
津川 育子

人間関係には難しいことがたくさんあります。社会に属し、多くの人と関わり、生きていくのはいくつになっても同じことです。人の数だけ、人間関係にはさまざまな色が存在し、私達は毎日のようにそれに頭を悩ませているのではないのでしょうか。

ここで、人間関係についての例を二つほどあげて考えてみましょう。

ある企業の社長が、社内会議の時に「君達には、頑張れば、どこまでも昇って行けるだけの力があるんだ。やる気を持って頑張るか、ゴミで終わるか自分次第なんだ！」と熱く語られました。社員を鼓舞して、やる気を出してほしいという思いからの言葉だったのでしょうか。

もちろん、この言葉にやる気を出した社員もいましたが、中には「おまえ達はゴミだ！」と言うような社長の元ではやる気が出ないと、反感を抱いてしまう方もいました。

また、ある医療機関では、院長に「幼稚園児以下だと言われまして」と、落ち込んだ様子のスタッフが。何があったのか院長に尋ねると、彼女はインフルエンザかもしれないのに、頑張って仕事場に出たのだそうです。ですから「インフルエンザかもしれないな

ら、無理して仕事に行くべきではないと幼稚園児でさえ分かるだろう」と言われたとか。一つの言葉に対して、受け取り手が代わるだけで、その意味は180度違ってくる。

現在、私が主宰する人財育成サポーターの人事の勉強会では、「最新心理学人格適応論」を利用して、どんな仕事・職種が向いているか、どんな部分を伸ばしていけば良いか、モチベーションアップの方法等を行っています。

トップの方は、自分の社員のタイプを知り、それを仕事へのやる気アップなどに活かすことに使え、今後の明確なビジョンのためにどのタイプを採用し、どのような職種に活かしていけばいいかということ、考えられるようになりま

す。

適材適所、人それぞれの良い部分を活かすということをしつかりと考えると、上司も部下も、ストレス無く一緒に高め合いながら幸せになれるよう、サポートさせて頂いています。

2月11日10:00~17:00 「人格適応論を人間関係に活かす」という勉強会を開催致します。

ご質問は tsugawa@jinzai-ikusei.jp まで。

【問い合わせ】  
096-342-9733  
tsugawa@jinzai-ikusei.jp

**林田 素行さん(66)**  
くまもと監査法人 統括社員  
(熊本市中央区花畑町)  
熊本に根差した地域の公認会計士が監査業務を行うのが地域社会の発展に貢献するという考えの下で設立し、昨年設立5周年を迎えました。上場会社の減少などで監査先が減っている中、この5年間でクライアントは増加傾向にありますよ。

**坂田 雅孝さん(59)**  
ウッドファーム 社長  
(熊本市南区近見8丁目)  
学校の校舎や体育館など、県産材を使った施設づくりを提案しています。一昨年は熊本駅と新玉名駅の建設に当たり、JR九州や設計関係者と木材業界をつなぐコーディネーター役となって県産材を取り入れた駅舎づくりに取り組みました。

**森田 茂伸さん(59)**  
税理士法人森田事務所 代表社員  
(熊本市中央区幸島町)  
神戸市に本社を持ち、12月に県外2拠点目となる熊本支社を開設しました。中小企業にとって最も大事なのは、事業を通じて得た利益をお金として会社・社長個人にしっかり残すこと。関西の商売人の魂を熊本の企業にも注入していきます。

**中村 光宏さん(40)**  
肥後ポリエチレン 社長  
(熊本市南区出仲間3丁目)  
食品向けのパッケージの企画・製造などを手掛けており、創業50周年を迎えました。これからもお客さまの商品をより安全で美しく包むべくパッケージの魅力を高め、幅広いニーズに応えていくことを目指していきます。